

1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は強い冬型の気圧配置となっている。日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ) が北陸地方を指向。西～北日本の日本海側を中心に、雷を検知し3時間に5～15cmの降雪を観測。JPCZ上の低気圧が接近した北陸地方では、7日夜は降雪が強まり、新潟県や石川県では顕著な大雪を観測した所がある。
- ② 500hPa5160m付近に-42℃以下の寒気を伴ったトラフがあって、東進。
- ③ 日本海北部に低気圧があって、南下。



主要じょう乱解説図

- ④ 冬型の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなっており、全国的に雪を伴った強い風や非常に強い風が吹き、波が高く大しけとなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 日本付近の強い冬型の気圧配置は、9日にかけて続く。1項②のトラフは、8日朝にかけて東～北日本を通過する。東～北日本は 500hPa-39℃以下、西～北日本は 850hPa-9℃以下の寒気に覆われ、大気の状態が非常に不安定となり、降雪が強まり大雪となる所がある。西～北日本では9日にかけて、大雪による交通障害に警戒し、着雪やなだれ、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。なお、1項①の JPCZ は8日朝までに不明瞭になり、1項③の低気圧は8日夜までに東北地方に進み不明瞭になるが、9日にかけて西～北日本日本海側では下層風が収束する所があり、周辺では雪雲が発達し、短時間に降雪量が増えるおそれがあるので留意。
- ② 冬型の気圧配置の影響で、雪を伴った強い風や非常に強い風が吹き、しけや大しけとなる所がある。8日は、北日本では暴風雪や高波に、西～東日本では高波に警戒。全国的に9日にかけて、強風や風雪、高波に注意。
- ③ 10日は、高気圧が東シナ海に移動し冬型の気圧配置は次第に緩むが、西～北日本は 850hPa-9℃以下の寒気が残り、日本海側を中心に降雪が続く大雪となる所がある。また、気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風が吹き、波が高くなりしけとなる所がある。10日は、西～北日本では大雪や着雪、なだれ、強風や風雪、高波に注意。南西諸島では高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：関東甲信 80、東北・北陸・近畿 70、東海・中国 60、北海道 30、九州北部 20、四国 15cm。
- ③ 波浪(明日まで)：東北・伊豆諸島・小笠原諸島・北陸・近畿 6、その他 3～5m。
- ④ 高潮(明日まで)：北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雪と暴風雪及び高波に関する全般気象情報」を05時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。